

Magic xpi

IBM i & DB2/400 アダプタのご紹介

OUTPERFORM THE FUTURE

Magic Software Japan K.K.



IBM i & DB2/400 コンポーネント

IBM i コンポーネントでコマンドやプログラムの呼び出し、データキューやスプールの取り扱いができます。また、データマッパーを使用して、DB2/400に対して直接I/Oすることができます。

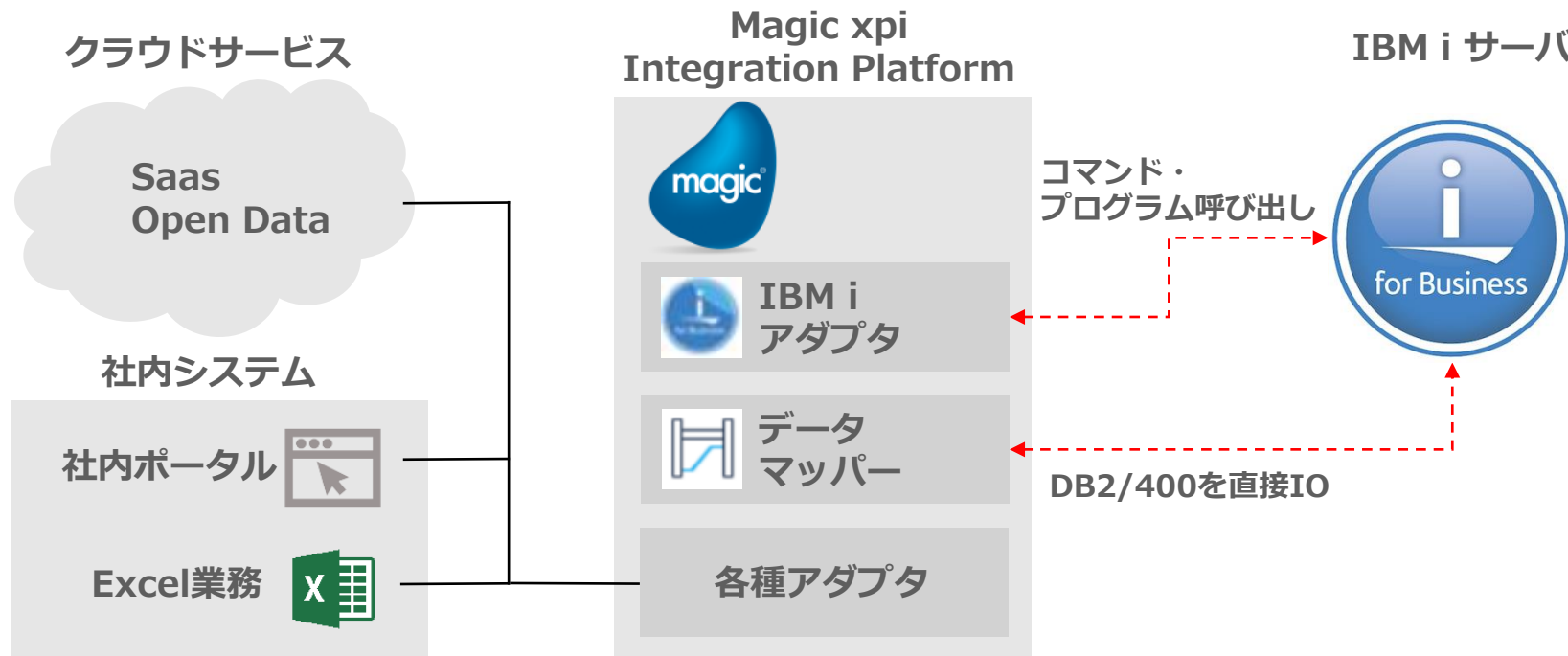
【主な特徴】

- IBM i コマンド、CL、RPGプログラム※の呼び出しが可能 ※画面なしプログラムのみ
- データキューやスプールの取り扱いが可能
- データマッパーを使用してDB2/400のレコードを直接読み書き可能
- SJIS ⇔ EBCDICの自動コード変換
- RDB、i-SAMともにサポート
- V5R4以降をサポート



連携イメージ

■ IBM i コマンド、プログラム呼び出し、DB2/400と直接データ連携



設定イメージ

■ IBM i IPアドレス、ユーザ、パスワード、ライブラリ等を指定

設定

#	名	タイプ	フォーマット	値
1	IPアドレス	文字	255	xxxxxxxxxxxx
2	ユーザ	文字	10	TESTUSER
3	パスワード	文字	30	*****

IBM i リソース

設定

#	名	タイプ	フォーマット	値
1	DBMS	文字	30	DB2/400
2	サーバ	文字	30	xxxxxxxxxxxx6077
3	ユーザ	文字	30	TESTUSER
4	パスワード	文字	30	*****
5	ライブラリスキーマ名	文字	30	JBOLTEST1

Database(DB2/400) リソース

リソース >> Database >> DB2_400 (データベース接続定義)

Library/Schema Name

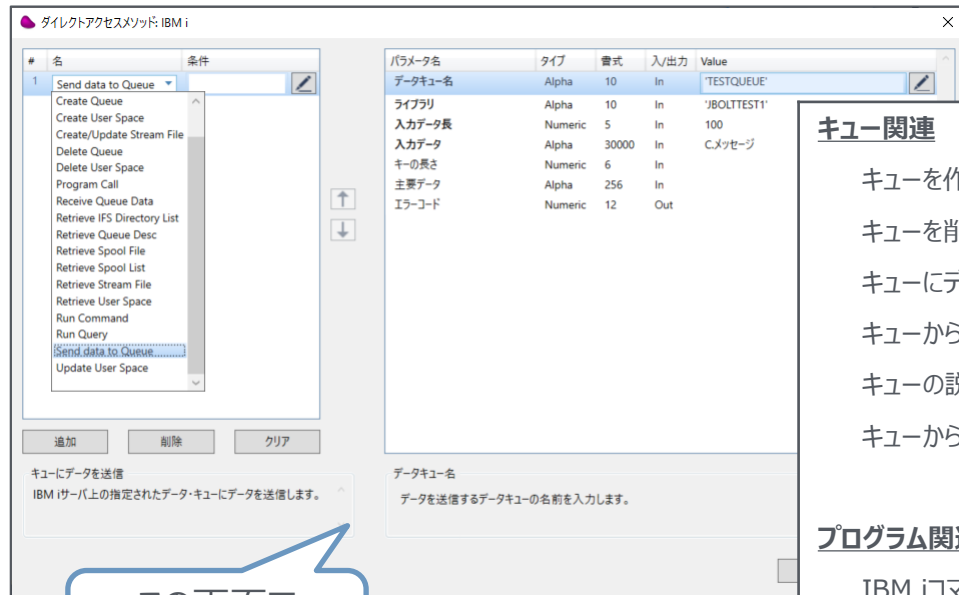
検証 テーブル ライブラリ オフライン

追加 削除 ロード

適用 OK キャンセル

設定イメージ：IBM i コンポーネント（ステップ使用）

- 左ペインでメソッドを選択し、右ペインで詳細設定を行います



この画面で
設定するだけ！

キュー関連

- キューを作成
- キューを削除
- キューにデータを送信
- キューからデータを取り出し
- キューの説明と属性を取り出し
- キューからデータをクリア

ユーザースペース関連

- ユーザースペースを作成
- ユーザースペースからデータを取り出し
- ユーザースペースを更新
- ユーザースペースを削除

その他

- スプールリストを取得
- スプールファイルを取得
- ストリームファイルを取得
- ストリームファイルを作成/更新
- IFSディレクトリリストを取得

プログラム関連

- IBM iコマンドを発行
- クエリを実行
- プログラムを呼出し
- プログラムの引数文字列を生成

設定イメージ：IBM i コンポーネント（トリガー使用）

- トリガーエリアに配置し、IBM i データキューを監視
データキューにデータが書き込まれるとフローの処理を開始します

AS400Queue監視 (キュー関連)

最大インスタンス数=1

トリガー (1)

トリガーエリアに配置

コンポーネント設定：IBM i

オペレーション詳細

キュー名: TESTQUEUE

データレシーバーのサイズ: 100

シーケンス: FIFO

キー順序:

キー長さ:

キーデータ:

メッセージ内容変数: C.メッセージ

引数XML場所: C.UserXML

再接続ポリシー

再接続毎(秒): 30

再接続試行回数: 0

キーアライブ間隔(分): 0

キューに書き込まれたデータを変数に格納しフローの処理で使用

OK 取消

設定イメージ：データマッパー（DB2/400）

- 送り元で使用する場合はSELECT文を設定
- 送り先で使用する場合はINSERT、UPDATE、DELETE文を設定

The screenshot displays the 'データ登録 (データ登録)' window. On the left, the '送り元' (Source) is 'ACCOUNT_CSV' with fields: ID (1), NAME (2), ZIP (1), ADDRESS (3), TEL (1), FAX (1), MAIL (1), and TITLE (1). On the right, the '送り先' (Destination) is 'DB2_400' with table 'JBOLTEST1.ACCOUNT' and fields: ID (1), FIRSTNAME (1), LASTNAME (1), ZIP, ADDRESS1, ADDRESS2, ADDRESS3, TEL, FAX, MAIL, TITLE, CREATEDATE, CREATETIME, UPDATEDATE, and UPDATETIME. Arrows indicate the mapping from CSV fields to database fields. A 'データベーススイザード' (Database Wizard) window is open in the foreground, showing the 'テーブル選択' (Table Selection) step. It lists the selected table 'JBOLTEST1.ACCOUNT' and its fields. A callout bubble from the wizard says 'ウィザードを使用してSQL文を生成'.

ウィザードを使用してSQL文を生成

適用パターン



OUTPERFORM THE FUTURE™

アダプタを利用した適用パターン

クラウドサービス



社内ポータル等



スケジュール、等

営業、現場担当



Email、Excel帳票、
OCRデータ、等



OUTPERFORM THE FUTURE™



クラウドもオンプレミスも
簡単な手順で連携

コマンド・
プログラム呼び出し



DB2/400を直接IO



業務プロセスの自動化・効率化、
業務処理の正確性を実現

A low-angle, upward-looking photograph of two men in business suits shaking hands. The man on the left is wearing a light-colored suit, and the man on the right is wearing a dark suit. They are standing in front of a tall, modern building with many windows. The lighting is bright and warm, creating a positive and professional atmosphere.

THANK YOU!



OUTPERFORM THE FUTURE™